

白浜でテングサ場の雑藻刈り

下田市白浜地区では、当场職員と素潜り漁業者が共同で平成29年からテングサ場の雑藻刈りを行っています。今年度も令和3年11月30日に素潜り漁業者3名と当场の職員3名で1時間半ほどかけて、約2,500㎡のテングサ漁場の雑海藻（オオバモクが中心）を鎌で刈り取りました。テングサ漁場は一度人の手が入らなくなると、テングサ以外の海藻が繁茂して、テングサがほとんど生えていない荒廃した漁場へと変わってしまいます。そのような荒廃した漁場からテングサ以外の海藻を刈り取り漁場の生産力を回復させる取り組みは、古くから「雑藻刈り」として行われてきました。過去には雑藻刈りの翌年に赤い絨毯のように漁場が回復したという報告もあり、当场の研究でも800㎡の雑藻刈りを行うことで、同じ場所から素潜りで約300kg(生)が収穫されることが明らかになってます。今後の生産量の増加に期待したいと思います。



雑藻刈り前の漁場



雑藻刈り後の漁場



雑藻刈りをする素潜り漁業者

(橋詰悠斗)